

令和7年度【1学期終業式】

みなさん、おはようございます。

ひろっこのみなさんが「いきいき」と学校生活を送るために、今年度もふたつのことを意識してほしいと校長先生は言ってきました。

ひとつは、「当たり前のことを当たり前にする」

もうひとつは、「みんなでチャレンジ」です。

夏休みも、このふたつを意識して取り組んでいきましょう。

1つ目の、「当たり前のことを当たり前にする」を考えてみましょう。

みなさんの「当たり前」とは、何でしょうか。

「当たり前」とは、自分のことは自分でする、相手のことを思いやり、親切にする、仲間と協力する、時間を守る、人の嫌がることをしない、責任をもって行動する、お世話になっている人に感謝する……。いろいろな「当たり前」があります。

この「当たり前」ができることの積み重ねが、人としての「成長」につながってくると校長先生は考えています。

夏休みは、自分で考えて過ごす時間が多くなります。生活リズムを崩さないように、「当たり前のことを当たり前にし」、生活していきましょう。

2つ目は、「みんなでチャレンジ」です。

夏休みは、いつもと比べて、自由な時間がたくさんあります。自分自身が何かチャレンジすることを決めて取り組んでみましょう。そうすれば、自分自身に「自信」がついてきます。

一日一日を無駄に過ごすか、一分一秒にベストを尽くすか。どちらを選ぶかは、きみたち次第です。

そして、もうひとつ意識してほしいことを追加します。ある絵本を紹介して、考えていきましょう。

【読み聞かせ 絵本「ぼくがラーメンたべてるとき」】

今、こうやってひろっこみんなと終業式をしているときにも、ある国では戦争が起きています。楽しんでいる人がいれば、悲しんでいる人もいます。わたしたちの「当たり前」は、他の国ではちがうこともあるのです。

この絵本から言いたかった3つ目は、「いろいろ考える」です。

「夏休みって?」「友達って?」「自分がしたいことは?」「平和って?」……。

この夏休みを通して、いろいろなことにチャレンジ・体験をして、「いろいろ考えて」みてください。「当たり前って何だろう?」と。

「当たり前のことを当たり前にする」

「みんなでチャレンジ」

「いろいろ考える」

この3つを意識して夏休みを有意義に過ごし、みんな「いきいき」と輝いてください。2学期の始業式には、大きく成長したみなさんと笑顔で会えるのを楽しみにしています。

これで校長先生の話が終わります。